福祉用具ヒヤリハット情報

Case: 197

寝返りをする際に手元スイッチを誤ってつかんでしまい、フックが切れて、パランスを崩しそうになる

場面の説明

寝返りのためのベッドの柵(サイドレール)をつかもうとしたが、誤って手元スイッチをつかんだため、フックが切れてひっくり返ってしまった



解説

寝返りをする際などに、ベッドの柵(サイドレール)に架けてある手元スイッチを引っ張ってしまうことがあります。このような事故につながりかねない事例のほか、断線などの故障にもつながります。利用者は、わらにもすがる思いで掴んでしまうので、そのような場所に手元スイッチを格納しないなど、介助者の配慮も大切です。

参考要因

人:ベッドの柵(サイドレール)でよくつかむ箇所に手元スイッチを格納していた

人: 手元スイッチを引っ張っても大丈夫なものだと油断していた

モノ:引っ張る人はいないという前提で設計されていた